

二宮町第2次環境基本計画
後期実施計画（令和4年度）の進捗状況について

令和5年12月

二 宮 町

目次

I	二宮町第2次環境基本計画について	1
1.	計画期間	1
2.	基本理念	1
II	施策体系について	2
III	評価方法について	2
1.	評価方法	2
IV	基本目標別進捗状況及び評価	3
1.	生物多様性の保全	
	多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち	3・4
2.	循環型社会の実現	
	環境にやさしい循環型のまち	5
3.	低炭素社会の形成	
	地球環境の保全に取り組むまち	6
V	二宮町第2次環境基本計画後期実施計画の評価	7・8
VI	令和4年度進捗状況等に対する二宮町環境審議会の意見	9
	<はじめに>	9
	<令和4年度全体評価>	9
	<基本目標別意見>	9
	1. 生物多様性の保全について	9
	2. 循環型社会の実現について	9
	3. 低炭素社会の形成について	9
資料	二宮町第2次環境基本計画後期実施計画 (令和4年度進捗状況一覧)	11

I 二宮町第2次環境基本計画について

1. 計画期間

環境基本計画の計画期間は、平成24年度～平成34年度（令和4年度）とし、本計画に基づく実施計画の期間は次のとおりです。

なお、令和4年度については、後期実施計画の4年目（最終年度）となります。

計画期間区分		対象期間
二宮町第2次 環境基本計画	前期実施計画	平成24年度～平成27年度
	中期実施計画	平成28年度～平成30年度
	後期実施計画	令和元年度～令和4年度

2. 基本理念

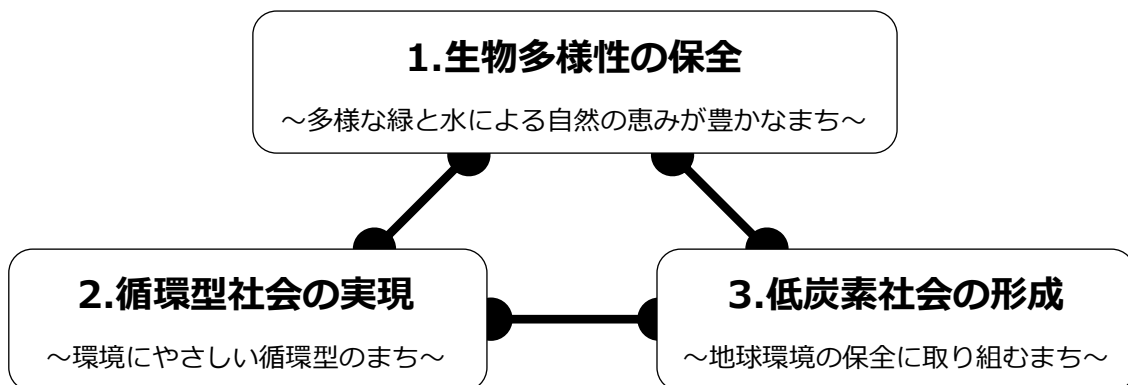
『のこしたい・つたえていきたい・ふるさとを

～里山・里地・里川・里海と暮らすまち へのみや～』

環境基本計画では、「自然からの恩恵だけでなく、自然災害など自然の力も含め、人と自然が共生する環境のまち（ふるさと）をめざし、二宮町が有する豊かな自然環境を大切に育むことを通じて、まちへの愛着を育む」ことを基本理念としています。

この基本理念を実現するため、3つの骨太の柱となる基本目標を設定し、二宮町の自然・社会環境を生かしながら、将来に残したい環境の保全や創出に向けて、町民・事業者・町が一体となって取り組んできました。

基本目標（3つの骨太の柱）



※1～3は、相互に関連しています。

II 施策体系について

二宮町第2次環境基本計画後期実施計画（令和元年度～令和4年度）では、環境基本計画で立てた骨太の柱となる3つの目標に、14の基本施策を設定し、それらを実現するため53の事業を設定しました。

基本目標	基本施策	事業数	
1.生物多様性の保全 多様な緑と水による 自然の恵みが豊かなまち	1-1. 吾妻山の保全と魅力の向上	1	21
	1-2. 丘陵地や谷戸などの保全	6	
	1-3. 水と親しめる葛川の再生	6	
	1-4. 二宮海岸の保全と魅力の向上	6	
	1-5. 良好な自然を象徴する動植物の保全	2	
2.循環型社会の実現 環境にやさしい循環型のまち	2-1. リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	5	17
	2-2. リユースやリサイクルの促進	3	
	2-3. ごみの適正な処理・処分の推進	5	
	2-4. 不法投棄防止の推進	2	
	2-5. 地産地消の促進	2	
3.低炭素社会の形成 地球環境の保全に取り組むまち	3-1（2） 省資源・省エネルギー活動の促進 自然エネルギーの活用	6	15
	3-3. 緑化や雨水利用などによる環境の保全	3	
	3-4. 環境保全による安全なまちづくり	3	
	3-5. 快適な生活環境の向上	3	
総事業数		53	

III 評価方法について

1. 評価方法

後期実施計画は、基本目標ごとに重点事業を設け、重点事業の進捗管理を行うことで、基本目標の効果を把握しやすくしました。

また、各事業の評価方法についても一定の基準で評価できるよう、「達成状況評価」と「事業内容評価」の合計を5段階で評価する方法に変更したことで、それぞれの事業において、一貫した評価を行えるようにしました。

《後期実施計画における評価》

評価指標	
A	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 100%】
B	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 75-99%】
C	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 50-74%】
D	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 25-49%】
E	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 0-24%】

IV 基本目標別進捗状況及び評価

1. 生物多様性の保全 ～多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち～

「生物多様性の保全」については、里山・里地・里川・里海という多様性に富む豊かな自然を大切に保全し育むとともに、自然と人間が生活の様々な場面で共生することを目指し、事業の推進に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
1-2-①	里山再生育成事業	B	84%
1-3-④	葛川水質調査の実施	B	84%
1-4-④	湘南にのみや海岸 530 キャンペーンの実施	-	-

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業計画を変更又は中止した事業については、通常時の年度との比較検証が困難であることから、評価の対象外「-」としています。

【里山再生育成事業】

身近な里山の手入れや間伐材の利用を通じたボランティアによる里山体験の促進によって里山の保全・育成を図り、災害による被害抑制につなげることを目的に、「田植え体験学習（2園、58名参加）」を6月17日に、「稲刈り体験学習（3園、77名参加）」を10月20日に、「原木椎茸植菌教室（30名参加）」を3月1日に実施しました。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症や天候の影響を受けることなく、予定していたすべての体験教室を実施することができましたが、参加人数が目標値に届かなかったことから、本事業の評価は「B」となりました。

今後の事業継続にあたっては、管理に多大な負担を要する「体験学習用地（田んぼ）」を維持していくため、日頃より田んぼの管理に協力いただいている「里山再生ボランティア」を支援することによる負担軽減や、「里山づくり推進協議会」に新たな団体（構成員）を加えることによる組織体制の強化が必要となることから、事業内容の見直しも含め検討してまいります。

【葛川水質調査の実施】

家庭・事業所等の排水による水質汚濁の未然防止と葛川の環境の把握を目的に、町内の河川6地点において年4回の「水質測定（24検体）」を実施し、その結果をホームページで公開しました。

一色橋での水質検査の結果、4回のうち2回において「BOD（生物化学的酸素要求量）」が環境基準値を超過したことから、本事業の評価は「B」となりました。

一色橋の上流は、下水道整備計画区域外であることから、生活排水の影響等により過去にも環境基準値を超過した経過があるため、今後も定期的な水質測定により河川の水質状況を把握するとともに、合併処理浄化槽設置補助による単独浄化槽からの転換を促進してまいります。

【湘南にのみや海岸 530（ごみゼロ）キャンペーン】

海岸清掃を通じて地域美化活動への気運の高まりを醸成するため、「湘南にのみや海岸 530（ごみゼロ）キャンペーン（489名参加）」を5月27日に開催し、285kg（うち約6割がプラスチックごみ）の海岸ごみを回収しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、開催式を行わない等の対策を講じる等、開催方法を大幅に見直したことで、参加人数に大幅な減少が見られたことから、評価の対象外としました。

今後も必要な感染症対策等を講じつつ、キャンペーンの開催を継続することに加え、海岸でのキャンペーン以外の地域美化活動についても、町民、各関係団体と連携により、町全体での美化推進が図られるよう検討してまいります。

2. 循環型社会の実現 ～環境にやさしい循環型のまち～

「循環型社会の実現」については、ごみの減量化や資源化等を推進するとともに、町内で生産・流通・消費の循環を実現していくことを目指し、事業の推進に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
2-3-①	二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進	B	75%

【二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進】

「二宮町一般廃棄物処理基本計画」に掲げる計画目標を達成することを目的に、「減量化」や「資源化」を推進するための出前授業の実施や各種広報媒体での周知啓発を積極的に実施しました。

「減量化」については、1人1日あたりのごみ総排出量の目標値798gに対し実績値790.3g、「最終処分量の削減」については、埋立量の目標値70tに対し実績値61tと、計画目標を達成することができましたが、「資源化」については、資源化率の目標値34.0%に対し実績値32.7%と、計画目標を達成できなかったことから、本事業の評価は「B」となりました。

近年、資源化率は減少傾向にあることから、資源ごみのさらなる分別の徹底について積極的な周知・啓発を図ってまいります。

3. 低炭素社会の形成 ～地球環境の保全に取り組むまち～

「低炭素社会の形成」については、地球全体における持続可能な社会を実現するための課題となっている二酸化炭素排出量の削減を目指し、省資源・省エネルギー活動の促進や環境保全の啓発に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価点数については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
3-1(2)-①	地球温暖化防止運動の推進	-	-

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業計画を変更又は中止した事業については、通常時の年度との比較検証が困難であることから、評価の対象外「-」としています。

【地球温暖化防止運動の推進】

温室効果ガスの排出抑制を推進することを目的に、環境活動団体等との連携・協力によるイベントやさまざまな広報媒体を通じた情報提供並びに普及啓発を実施しました。

本事業の目標値は、「温暖化防止行動の実行率（マイエコ10宣言で、10個以上選択した人の中で、「実効している項目」が5個以上実践している人の割合）」となっており、ふるさとまつりでの「マイエコ10宣言」の回収実績から把握することとされていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ふるさとまつりが中止となったことから、評価の対象外としました。

指標把握の代替えとして、町内の小中学の生徒児童を対象に実施した「マイエコ10宣言」は、今後も環境学習の充実を図る一環として、未来づくり教室とともに継続的に実施してまいります。

※「マイエコ10宣言」とは、持続可能な社会の実現を目指し、神奈川県が実施している取り組みの一つで、「私たちの環境行動宣言 かながわエコ10トライ」の16個の行動宣言の項目から、取り組みの見込みがあることを宣言するもの。

V 二宮町第2次環境基本計画後期実施計画の評価

令和4年度は後期実施計画の最終年度に当たるため、中期実施計画の最終年度の達成率と比較し、計画の進捗状況を整理しました。

- ※1：後期実施計画から評価方法を3点満点の点数制から達成率に変更したため、中期実施計画との進捗状況を比較しやすくするため、中期実施計画の点数を達成率に変換（点数×100/3）したものとっております。
- ※2：後期実施計画は新型コロナウイルス感染症の影響等により評価の対象外とした事業は達成率に含めておりません。後期実施計画の事業数欄の（ ）書き内の数値は「後期実施計画の実施事業数（評価対象外事業も含めた事業数）」となっております。
- ※3：基本目標のうち「4. 計画の推進方策」は、後期実施計画の策定時に評価方法の明確化に伴い基本目標から除外したため、中期実施計画のみの表記となっております。

基本目標	中期実施計画 最終年度（H30）		後期実施計画 最終年度（R04）		達成率の 変動
	達成率	事業数	達成率	事業数	
1.生物多様性の保全	77.3%	21	90.0%	19（21）	+12.7%pt
2.循環型社会の実現	81.3%	17	88.5%	14（17）	+7.2%pt
3.低炭素社会の形成	81.0%	16	93.3%	13（15）	+12.3%pt
4.計画の推進方策	90.0%	10	—	—	—
全体平均達成率	82.4%	64	90.8%	46（53）	+8.4%pt

1. 生物多様性の保全について

「下水道の普及促進（1-3-②）」等の事業で評価が上がったことや、後期実施計画から新たに加わった「水資源に関する教育（1-3-⑥）」の評価が高かったことにより、中期実施計画の最終年度から12.7%ptの増加となり、3つの基本目標の中で最も大きく評価が増加しました。

2. 循環型社会の実現について

「ごみ減量化推進事業（2-1-①）」や「マイバック・マイボトル等の利用促進（2-1-②）」の事業で評価が上がった反面、「生ごみ処理機の導入促進（2-2-③）」や「不法投棄防止事業（2-4-①）」の事業で評価が下がったことにより、中期実施計画の最終年度から7.2%ptの増加にとどまりました。

3. 低炭素社会の形成について

後期実施計画から新たに加わった「地球温暖化防止に関する教育（3-1(2)-⑥）」や「花いっぱい運動の推進（3-3-③）」の評価が高かったことや、評価の伸びが低調にとどまった「地域美化活動の推進（3-5-①）」等の事業が評価の対象外になったことにより、中期実施計画の最終年度から 12.3%pt の増加となりました。

4. 二宮町第2次環境基本計画後期実施計画全体について

「2. 循環型社会の実現」に係る事業の一部が停滞していますが、その他の基本目標は、それぞれ課題が残るものの概ね良好な進捗が図れました。

評価の伸びが低調にとどまった事業が評価の対象外になったこともあり、中期実施計画の最終年度から 8.4%pt の増加となりました。

VI 令和4年度進捗状況に対する二宮町環境審議会の意見

(令和5年11月6日)

<はじめに>

二宮町環境審議会では、「二宮町第2次環境基本計画後期実施計画」の令和4年度における進捗状況について審議し、以下のとおり意見を取りまとめましたので、今後の計画の推進にあたっては、当審議会意見に配慮され、改善に取り組んでください。

<令和4年度全体評価>

これまでのPDCAサイクルによる継続的な改善もあり、それぞれ課題が残るものの概ね良好な進捗が図れています。

次期計画では、現状の課題を改善すると共に、更なる計画推進を望みます。

<基本目標別意見>

1. 生物多様性の保全について

【里山再生育成事業(1-2-①)】

里山再生育成事業の事業用地(田んぼ)付近にホタルが生息していることから、周辺のホタルの生息環境も併せた里山の維持管理を検討してはいかがでしょうか。

【湘南にのみや海岸530キャンペーンの実施(1-4-④)】

湘南にのみや海岸530キャンペーンでの回収ごみの約6割がプラスチックごみだったことを鑑み、プラスチックごみの抑制についてさらなる啓発を推進するべきだと考えます。

2. 循環型社会の実現について

【ごみの適正な処理・処分の推進(2-3-①)】

二宮町一般廃棄物処理基本計画の3つの計画目標のうち、現状、未達成である資源化率の対応策が、啓発のみでは不十分だと考えます。

【ごみ置場散乱防止対策事業(カラスネット配布)(2-3-②)】

ごみ置場散乱防止対策について、河川への流入を介したプラスチックごみによる海洋汚染を防ぐよう、カラスネットの優良活用事例やごみ置場の適切な利用等について更なる周知をするべきだと考えます。

3. 低炭素社会の形成について

【駅前駐輪場の運営(利用者の利便性向上)(3-1(2)-⑤)】

駅前駐輪場の運営は、環境負荷の少ない交通手段(自転車)の利用促進を図るための取り組みであるため、指標に原付バイクを含めるべきではないと考えます。

第 2 次二宮町環境基本計画後期実施計画
(令和 4 年度進捗状況一覧)

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
1	1-1 吾 妻山の 保全と 魅力の 向上	①公園 等維持 管理運 営事業	自然環境の保全と観光拠点 としての調和を図るため、 施設や設備を充実させるた めの整備を行うとともに、 動植物の生息状況に応じた 公園管理を行う。	都市部 都市整 備課	・里山保全のため、園内の樹木等 の維持管理作業を実施する。 ・山頂の眺望確保のため、剪定を 実施する。	・来園者数は408,292人であった。 ・シルバー人材センターによる園内の 樹木等の維持管理を適切に実施した。 ・山頂からの眺望確保のための剪定を 実施した。	・来園者数
2	1-2 丘 陵地や 谷戸な どの保 全	①里山 再生育 成事業	里山の保全育成を図ると ともに、災害による被害抑制 につなげるため、身近な里 山の手入れや間伐材の再利 用を通して、ボランティア による里山体験を促進す る。	都市部 産業振 興課	・田植え体験学習、稲刈り体験学 習、椎茸植菌教室の開催及び関連 団体との情報交換等により里山保 全の意識を高める。	・田植え体験学習（2園、58名参加） を6月17日に、稲刈り体験学習（3 園、77名参加）を10月20日に、原木椎 茸植菌教室（30名参加）を3月1日に 実施した。 ・希望のあった幼稚園等に苗や米を配 布した。	・事業参加者数
3	1-2 丘 陵地や 谷戸な どの保 全	②土地 改良事 業（農 道整 備）	農地の保全と地域農業の活 性化を図るため、農道を整 備する際にのり面の植生の 回復を図るなど、自然環境 に配慮した仕様を検討した 上で、整備及び維持管理す る。	都市部 産業振 興課	・近年、増加している大雨対策の ための改良及び農道のり面の崩落 防止修繕の実施により、里山保全 へも配慮した取組を行う。	・町内の農道10ヶ所を整備修繕した。	・農道の整備・改良、修繕件数
4	1-2 丘 陵地や 谷戸な どの保 全	③ふれ あい農 園事業	農地の荒廃化防止のため、 町が借りた農地を「特定農 地貸付けに関する農地法等 の特例に関する法律」に基 づき農業委員会の承認を受 けた上で、「二宮町ふれあ い農園事業実施要綱」によ り、町民へ貸出しを行う。 (1区画20㎡、作付は野菜と 草花)	都市部 産業振 興課	・農地の荒廃化防止の一助となる ようふれあい農園の適正な維持管 理をするともに、利用者による 適正な維持管理を促進する。	・農園の適正な維持管理に努め、全区 画を利用者に貸し出した。 ・次年度の利用意向確認をする際に、 共有部分の草刈等を促す通知を同封 し、利用者に周知をした。	・区画数

評価					課題		対応			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・シバザクラ園の維持管理は、公園スタッフ及び町民ボランティアで行っていたが、令和元年度からボランティアによる活動が休止となり、人手が不足している。</p> <p>・シバザクラも寿命である5年を経過し、シバザクラを良好に育てることが困難となっている。</p> <p>・シバザクラ園を良好な状態に保つことが難しいため、維持管理を軽減することに加え、長期的に花木などが楽しめるエリアに変えていく必要がある。</p> <p>・今後は花木の植替え等のリニューアルを検討していく。</p>			
R01 目標値 350,000人	R02 目標値 350,000人	R03 目標値 350,000人	R04 目標値 350,000人	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25					
R01 実績値 426,860人	R02 実績値 322,466人	R03 実績値 377,566人	R04 実績値 408,292人	× 事業 達成率 100%	× 事業内容 達成率 100%					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 92%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A					
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・体験学習用地（田んぼ）の維持管理に多大な負担がかかるため、現状の「里山再生ボランティア」の支援の他、維持体制の強化を図る必要がある。</p> <p>・里山づくり推進協議会に新たな団体（構成員）を加えることによる事業負担の軽減、体験学習用地の場所や事業内容の見直しも含め検討する。</p>	
R01 目標値 240人	R02 目標値 240人	R03 目標値 240人	R04 目標値 240人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 110人	R02 実績値 0人	R03 実績値 63人	R04 実績値 165人	× 事業 達成率 69%	× 事業内容 達成率 100%					
R01 事業達成率 46%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 26%	R04 事業達成率 69%	達成状況 評価(A) 34%	事業内容 評価(B) 50%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	84%	B					
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・自然環境に配慮した工法は、すぐに草が繁茂し、農道の通行に支障をきたす恐れがあり、草が触れることでイノシシ等電気柵の電圧が下がる原因にもなることから、施工場所に応じた工法を選択する必要がある。</p> <p>・大規模な修繕や整備・改良にあたっては、可能な限りにおいて自然環境に配慮した工法を選択できるよう計画的な管理を行うとともに、損傷が小さいうちに早期発見、対処することで、修繕を小規模化できるよう努める。</p>			
R01 目標値 5件	R02 目標値 5件	R03 目標値 5件	R04 目標値 5件	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 7件	R02 実績値 7件	R03 実績値 16件	R04 実績値 10件	× 事業 達成率 100%	× 事業内容 達成率 100%					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A					
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・年度末までには更新されるものの常にキャンセル待ちが発生しているため、農園を適切に管理し、管理が疎かになっている利用者の意向を再確認し、返却があった際には早急に更新をする必要がある。</p> <p>・遊休・荒廃農地対策の一環として、現行のふれあい農園の適切な維持管理に努める。</p>	
R01 目標値 106区画	R02 目標値 106区画	R03 目標値 106区画	R04 目標値 106区画	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25					
R01 実績値 104区画	R02 実績値 106区画	R03 実績値 106区画	R04 実績値 106区画	× 事業 達成率 100%	× 事業内容 達成率 100%					
R01 事業達成率 98%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
5	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	④遊休・荒廃農地対策事業	農業の担い手不足により増加している遊休・荒廃農地の解消と農地の保全のため、新規就農者や販売を視野に入れた本格的な農業取組む「かながわ農業サポーター」など、新たな担い手の受け入れを積極的に行う。	農業委員会事務局	・遊休荒廃農地の解消を図るため、農地中間管理機構等を活用し、新規就農者や経営規模拡大の意向がある農業者への更なる利用集積を推進する。 ・二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金の活用により解消を支援する。	・農地利用状況調査結果を基に遊休地の所有者に対し、農地中間管理機構の活用を促すとともに、要件緩和した二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金のPRを実施した。（補助金活用件数3件0.24ha）	・遊休・荒廃農地の解消面積
6	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	⑤緑の基本計画の推進	緑地率を30%、公園等整備面積43haを目標とする「緑の基本計画」を推進するため、指定区域内の山林等所有者への自然保護奨励金の交付（県事業）や「二宮町緑の保全及び緑化の推進に関する要綱」に基づく保存樹木の指定により松等の緑の保全に努める。	都市部都市整備課	・県と連携し、保安林等所有者に自然環境（里山）の保全の推進を図る。 ・保存樹木の指定及び保全に努める。	・自然保護奨励金の対象は、山林等対象件数4件、対象面積87,484㎡で、昨年度と同数であった。 ・保存樹木の対象件数は、対象件数17件、対象本数149本（マツ・ケヤキ・サクラ等）であった。	・自然保護奨励金制度の対象面積 ・良好な生活環境の確保及び美観風致を維持するための補助本数
7	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	⑥二宮せせらぎ公園におけるホタル観賞会の実施	ホタルの生態を知ることを通じ、水辺等の自然環境の保全に対する理解を得るため、二宮せせらぎ公園におけるホタルの観賞会を実施する。	都市部都市整備課	・園内の維持管理作業に農業等を使用せず、ホタルが息できる環境を維持する。 ・ホタルの観賞会を実施する。	・ホタル観賞会を5月26日から6月1日までの7日間開催した。 ・来園者数が4,129人、ホタル数は874頭であった。	・ホタル出現数
8	1-3 水と親しめる葛川の再生	①公共下水道整備事業	公共下水道処理区域の一層の拡大を図るため、年次毎に効率的な汚水枝線の整備工事を実施する。	都市部下水道課	・事業計画区域内の下水道未普及地区で枝線工事を実施する。 ・山西（釜野）地区、二宮（谷戸）地区、百合が丘地区で整備を行う。	・山西（釜野）地区、百合が丘地区、二宮（谷戸）地区で枝線工事を実施した。 ・約0.6 kmの汚水管を整備。令和5年4月の供用区域が2.1ha増加した。	・整備面積

評価					課題		対応
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・遊休荒廃農地の多くが谷戸や斜面地に存在しているため、担い手の減少、農業者の高齢化及び鳥獣被害により耕作放棄地が増加する状況においては、農地の確保・有効利用を図ることが必要がある。</p>
R01 目標値 0.4ha/年	R02 目標値 0.4ha/年	R03 目標値 0.4ha/年	R04 目標値 0.4ha/年	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50		
R01 実績値 0.28ha/年	R02 実績値 0ha/年	R03 実績値 0.06ha/年	R04 実績値 0.24ha/年	× 事業 達成率 60%	× 事業内容 達成率 100%		
R01 事業達成率 70%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 15%	R04 事業達成率 60%	達成状況 評価(A) 30%	事業内容 評価(B) 50%		
事業内容評価				総合評価(A)+(B)			
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	80%	B		
達成状況評価					評価割合(100)		
R01 目標値 80,000m 179本	R02 目標値 80,000m 179本	R03 目標値 80,000m 179本	R04 目標値 80,000m 179本	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25		
R01 実績値 87,484m 155本	R02 実績値 87,484m 155本	R03 実績値 87,484m 149本	R04 実績値 87,484m 149本	× 事業 達成率 92%	× 事業内容 達成率 80%		
R01 事業達成率 93%	R02 事業達成率 93%	R03 事業達成率 92%	R04 事業達成率 92%	達成状況 評価(A) 69%	事業内容 評価(B) 20%		
事業内容評価				総合評価(A)+(B)			
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 80%	R03 事業内容評価 80%	R04 事業内容評価 80%	89%	B		
達成状況評価					評価割合(100)		
R01 目標値 1,500頭	R02 目標値 1,500頭	R03 目標値 1,500頭	R04 目標値 1,500頭	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50		
R01 実績値 433頭	R02 実績値 490頭	R03 実績値 495頭	R04 実績値 874頭	× 事業 達成率 58%	× 事業内容 達成率 80%		
R01 事業達成率 29%	R02 事業達成率 33%	R03 事業達成率 33%	R04 事業達成率 58%	達成状況 評価(A) 29%	事業内容 評価(B) 40%		
事業内容評価				総合評価(A)+(B) コロナの影響あり			
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 40%	R03 事業内容評価 80%	R04 事業内容評価 80%	69%	-		
達成状況評価					評価割合(100)		
R01 目標値 410ha	R02 目標値 418ha	R03 目標値 425ha	R04 目標値 432ha	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25		
R01 実績値 410ha	R02 実績値 414ha	R03 実績値 417ha	R04 実績値 419ha	× 事業 達成率 97%	× 事業内容 達成率 100%		
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 99%	R03 事業達成率 98%	R04 事業達成率 97%	達成状況 評価(A) 73%	事業内容 評価(B) 25%		
事業内容評価				総合評価(A)+(B)			
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	98%	B		
課題					対応		
・遊休荒廃農地の多くが谷戸や斜面地に存在しているため、担い手の減少、農業者の高齢化及び鳥獣被害により耕作放棄地が増加する状況においては、農地の確保・有効利用を図ることが必要がある。					・農地中間管理機構の利用意向等が表明された農地情報を取りまとめ、農地中間管理機構と連携して新規参入者や新たな担い手へのあっせんを図るとともに、二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金の活用促進に努める。		
・保存樹木について、土地利用の変更や樹木の老木化等により減少する事が予想される。					・里山や保存樹木の所有者に対し、次世代へ緑の保全の必要性や理解の啓発に努めていく。		
・今後も天然のホタルが自生できるよう、現状の維持管理形態を保持していくことが重要となっている。					・現状の維持管理形態を保持しつつ、新しい手法も積極的に取り入れていく。		
・下水道の整備率は事業計画区域の93.2%となった。未整備の箇所については、工事実施の制約、施工管理の困難性のほかに、整備に際して沿線住民の申請を伴う私道が多く未整備となっている。					・工事の実施に際しては、地域、請負業者、関係機関との調整を図って施工していく。 ・私道沿線地域への情報提供など引き続き対応する。		

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
9	1-3 水と親しめる葛川の再生	②下水道の普及促進	下水道への早期接続を図るため、排水設備設置に係る水洗化改造等奨励金支給、水洗化融資あっせん利子補給、下水道や汚水処理に関する情報発信による啓発を実施する。	都市部 下水道課	・水洗化奨励金支給や融資あっせん利子補給を実施する。 ・未接続世帯へ接続案内の戸別配布などによる動奨を実施する。 ・ふるさとまつりに、(公財)県下水道公社と合同で、下水道接続PRブースを出展予定である。 ・広報紙へ啓発記事を掲載する。 ※水洗化率=接続済人口/処理区域内人口	・水洗化奨励金58件(1,147千円)、利子補給6人(約7千円)であった。 ・新規供用区域のほか、既区域の未接続家屋へ接続案内を配布(戸別387件)をした。 ・町広報に接続啓発記事の掲載をした。 ・水洗化率=接続済人口/処理区域内人口 (R04)21,300/25,310 (R03)21,050/25,280 (R02)20,450/25,260 (R01)19,880/25,210 (H30)19,320/25,170	・水洗化率
10	1-3 水と親しめる葛川の再生	③家畜環境整備対策事業	衛生的な家畜の飼養環境整備を図るため、家畜用浄化槽の整備、修繕に対する補助を行うとともに衛生管理等の薬品を配布する。	都市部 産業振興課	・家畜用浄化槽からの放流水質を適正に保つための消毒薬品を配布するとともに、畜舎、糞処理施設の臭気検査及び浄化槽の水質検査を実施し、衛生的な家畜の飼養環境整備に努める。	・家畜用浄化槽からの放流水質を適正に保つための消毒薬品を配布するとともに、畜舎、糞処理施設の臭気検査及び浄化槽の水質検査を実施し、衛生的な家畜の飼養環境整備に努めた。	・環境整備指導件数 ※農家が1件なくなったため、R02から目標値を3件に変更
11	1-3 水と親しめる葛川の再生	④葛川水質調査の実施	家庭・事業所等の排水による河川の水質実態を把握するため、町内河川の水質を調査するとともに水質汚濁を未然に防止するため、さまざまな広報媒体を通じて調査結果を情報提供する。	生活環 境課	・水質測定を実施する。 ・水質測定結果をホームページで公表する。 ・公共下水道への接続動奨を効果的に行っていくため、関係各課と連携し、公共下水道の整備による河川水質の改善効果について啓発を行う。また、水質が悪化してしまう原因などについても併せて周知する。	・水質測定(6地点×年4回)を実施した。 全24検体中、22検体が環境基準値を満たした。 ・水質測定結果をホームページで公表し、河川の水質状況を町民へ周知した。 ※実績値根拠:92%=22検体÷24検体 ・公共下水道の整備による水質改善効果について、ホームページで公表した。 ・公共下水道新規共用区域のほか、既区域の未接続家屋へ接続案内を配布するとともに、町広報紙に接続啓発記事を掲載した。	・測定地点数に対する測定値が環境基準値内の地点数割合
12	1-3 水と親しめる葛川の再生	⑤葛川美化推進事業	葛川にごみを捨てにくい環境づくりをめざすため、ボランティア団体や県等と連携し、ごみの回収や水生生物の生息確認等を実施するとともに、清掃を行っている団体の活動や葛川の魅力発信を行う。	都市部 生活環境課	・葛川の水生生物を調査する。(葛川をきれいにする会で実施) ・葛川をきれいにする会の清掃活動を支援するため、河川ごみの回収を行う。 ・葛川をきれいにする会の活動について、広報紙やホームページで広く啓発を実施するとともに、環境団体と連携して、葛川に親しめるイベントを開催する。	・葛川の水生生物の生息調査が葛川をきれいにする会によって実施された。 ・全国水生生物調査の指標生物のうち、水質階級Ⅰにあたる生物を8種類確認した。	・水質階級Ⅰにあたる指標生物種類数

評価					課題		対応		
達成状況評価				評価割合(100)		<ul style="list-style-type: none"> 指標の接続率は短期での大幅な伸びは難しく、継続した啓発活動が必要である。 供用から年数が経っている地区の未接続家屋等への接続勧奨が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙への記事掲載の実施する。 案内配布による啓発活動について、新規供用開始区域や供用後の年数が浅い地区の早期接続を促すとともに、供用から年数が経過している区域全体の未接続家屋に対しても、継続して実施する。 		
R01 目標値 77%	R02 目標値 78%	R03 目標値 79%	R04 目標値 80%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25				
R01 実績値 79%	R02 実績値 81%	R03 実績値 83%	R04 実績値 84%	×	×				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%				
100%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%				
事業内容評価				総合評価(A)+(B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A				
100%	100%	100%	100%						
達成状況評価				評価割合(100)				<ul style="list-style-type: none"> 老朽化等により機能不全が見られる設備については早急に修繕する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「畜産環境整備巡回指導会（畜産会主催）」により、専門知識者による巡回審査等を適切に行うことで、設備の状況を把握するとともに、設備更新に活用できる町の「畜産環境整備対策事業補助金」の予算確保に努める。
R01 目標値 4件	R02 目標値 3件	R03 目標値 3件	R04 目標値 3件	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75				
R01 実績値 3件	R02 実績値 3件	R03 実績値 3件	R04 実績値 3件	×	×				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%				
75%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A) 25%	事業内容 評価(B) 75%				
事業内容評価				総合評価(A)+(B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A				
100%	100%	100%	100%						
達成状況評価				評価割合(100)		<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道への接続勧奨や合併処理浄化槽への設置補助を行い、排水が適正に処理されるよう努めていく必要がある。 合併処理浄化槽への設置補助について、転換分の申請件数が少ないため、転換を促進する効果的な啓発が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 河川水質調査を継続して実施することにより、河川の水質状況を把握するとともに公共下水道への接続勧奨や合併処理浄化槽への設置補助を行い、排水が適正に処理されるよう努めていく。 合併処理浄化槽への設置補助について、転換分の申請件数が増えるよう、宅内配管工事費についても新たに補助対象とした。 		
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25				
R01 実績値 89%	R02 実績値 96%	R03 実績値 100%	R04 実績値 92%	×	×				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 92%	事業内容 達成率 60%				
89%	96%	100%	92%	達成状況 評価(A) 69%	事業内容 評価(B) 15%				
事業内容評価				総合評価(A)+(B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	84%	B				
89%	80%	80%	60%						
達成状況評価				評価割合(100)				<ul style="list-style-type: none"> 道端などにポイ捨てされたごみは、まちの景観を損ねるだけでなく、雨風によって、河川に流れ込んでしまうため、河川水質に悪影響を与え、水生生物が生息しづらい環境を作り出す一因になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 葛川をきれいにする会の清掃活動を支援するため、河川ごみの回収を行うとともに、不法投棄防止などポイ捨て防止に関する啓発を実施する。
R01 目標値 3種以上	R02 目標値 3種以上	R03 目標値 3種以上	R04 目標値 3種以上	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50				
R01 実績値 4種	R02 実績値 3種	R03 実績値 6種	R04 実績値 8種	×	×				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 80%				
100%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 40%				
事業内容評価				総合評価(A)+(B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	90%	B				
80%	100%	100%	80%						

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
13	1-3 水と親しめる葛川の再生	⑥水資源に関する教育	水資源への関心を高めるため、水資源についての教育を学校等の学びの場で行う。	教育委員会 教育総務課	・水資源への関心を高めるため、水資源についての教育をダムの見学（遠足）や学習の場で行う。	・校外学習ですべての小学校で宮ヶ瀬ダムを見学した。	・実施予定回数に対する環境教育実施回数割合
14	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	①海岸保全対策事業	海岸の保全を図るため、漁港区域内外において養浜工事を実施する。	都市部産業振興課 ・ 都市部都市整備課	・ 漁港区域内の養浜工事を実施する。	・ 漁港区域内の養浜工事を実施した。	・ 要望回数 ・ 実養浜量/計画養浜量
15	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	②海岸清掃(かながわ海岸美化財団)の実施	海岸の保全を図るため、公益財団法人かながわ海岸美化財団の活動と連携し、海岸清掃によりごみを回収する。	都市部生活環境課	・ 海岸美化活動を行う美化財団に負担金を支出することで海岸の保全を図る。 ・ 県及び沿岸13市町と連携し、国補助金確保のための要望活動を行う。	・ 海岸美化活動を行う美化財団に負担金を支出することで海岸の保全を図った。 ・ 県及び沿岸13市町と連携し、国補助金の確保のため、要望活動を行った。 ・ 美化財団による海岸清掃が67回行われ、29tの海岸ごみが回収された。	・ 美化財団海岸ごみ回収量
16	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	③釣り客、地引網等のごみの持ち帰りのマナー向上	海岸の保全を図るため、漁港区域の管理において、海岸利用客へ啓発看板を設置するとともに、誘発防止のため海岸来場者数が増加する時期に担当課職員による海岸清掃を行う。	都市部産業振興課	・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い海岸のフェンスの閉鎖を行い、バーベキュー等の自粛について啓発していくとともに、ごみの持ち帰りについて、声掛けや看板(ポスター)の設置を行うことで、維持管理に努める。	・ 漁港区域内に海岸利用者への啓発看板を設置した。 ・ 漁港区域の見回りの際に、海岸利用者への声かけを行った。	・ 清掃回数

評価					課題		対応			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ダムを含む水源地周辺地域への見学については、必ずしも毎年度実施できるわけではないと予想される。(校外学習の行先は学校で決めるため)</p>	<p>・「わたしたちの二宮」をデジタル化する際に、ダムや水源地に関する資料を充実させる。今後、水源地周辺の学校とオンラインで交流するなど学習活動の工夫を図ることも検討する。</p>		
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 100%	R02 実績値 80%	R03 実績値 90%	R04 実績値 100%	× 事業 達成率 100%	× 事業内容 達成率 100%					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 80%	R03 事業達成率 90%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A					
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・養浜に適した土砂を安定的に確保する必要がある。</p>	<p>・漁港区域内の浚渫土砂を確保できない場合には、海岸保全に影響のない土砂の確保に努める。</p>
R01 目標値 1回 100%	R02 目標値 1回 100%	R03 目標値 1回 100%	R04 目標値 1回 100%	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75					
R01 実績値 1回 100%	R02 実績値 1回 100%	R03 実績値 1回 100%	R04 実績値 1回 100%	× 事業 達成率 100%	× 事業内容 達成率 100%					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 25%	事業内容 評価(B) 75%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A					
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ポイ捨てや不法投棄されたごみが雨風等により河川に流れ込み、最終的には海へと流れ着いてしまうため、海岸沿岸部の河川下流部の地域だけでなく、河川上流部の地域も含めた協力が必要である。 ・台風など大雨が降った後は、ごみが海岸に大量に漂着するため、天候によって、ごみの回収量が大きく変わる。</p>	<p>・ボランティア団体により、定期的に河川清掃活動が実施されており、町も清掃ごみの回収作業を支援する等、ごみが海に流れ込むことを阻止するための水際対策を行う。 ・海岸美化を推進するため、かながわ海岸美化財団に負担金を支出し、定期的に海岸清掃を実施する。</p>		
R01 目標値 22t	R02 目標値 22t	R03 目標値 22t	R04 目標値 22t	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 9t	R02 実績値 13t	R03 実績値 15t	R04 実績値 29t	× 事業 達成率 76%	× 事業内容 達成率 80%					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 76%	達成状況 評価(A) 38%	事業内容 評価(B) 40%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 80%	R03 事業内容評価 80%	R04 事業内容評価 80%	78%	B					
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・町外も含めた海岸利用者に対し、周知を図る必要がある。</p>	<p>・啓発看板の設置箇所や啓発内容を工夫し、海岸利用者のごみの持帰りを促す。 ・ホームページやフェイスブックに記事を掲載する。</p>
R01 目標値 10回	R02 目標値 10回	R03 目標値 10回	R04 目標値 10回	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75					
R01 実績値 10回	R02 実績値 11回	R03 実績値 13回	R04 実績値 13回	× 事業 達成率 100%	× 事業内容 達成率 100%					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 25%	事業内容 評価(B) 75%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
17	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	④湘南にのみや海岸530キャンペーンの実施	海岸の保全の気運を高めるため、町民、ボランティア団体、各地区等の協力を得て、二宮海岸の一斉清掃を行う。	都市部生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、キャンペーンの開催を検討する。 ・プラスチックごみを分別し、回収量を公表することにより、プラスチックごみの適正処理やポイ捨て防止について、意識啓発を行う。 ・今後も、新たな実施方法等を検討するため、キャンペーン以外でも、町民、各関係団体と連携、協力して実施できる取組がないか検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、開催式を行わないなどの対策を講じながら、3年ぶりの開催となった。489名の方々に参加いただき、計285kg（うち約6割がプラスチックごみ）の海岸ごみを回収した。 ・プラスチックごみを分別し、回収量を公表することにより、プラスチックごみの適正処理やポイ捨て防止について、意識啓発を行った。 	・海岸530キャンペーン参加者
18	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	⑤松の保全事業	松を保全することにより、海岸の景観を保全するため、松くい虫被害予防のための薬剤を注入し、被害木を伐倒する。	都市部産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・松枯れ防止薬剤の注入及び松くい虫被害木の伐倒により、海岸周辺の松の保全に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松枯れ防止薬剤の注入を実施したほか、枯損樹木の伐倒を行った。 	・薬剤注入本数（アンプル数）
19	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	⑥梅沢海岸観光事業	海岸の魅力を向上するため、観光トイレの維持管理を行うとともに、地引網などを通じて町内外問わず多くの人に梅沢海岸の良さを知ってもらえるようPRを行う。	都市部産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きトイレの維持管理を実施し海岸の魅力向上を図りつつ、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、海岸フェンス閉鎖等の対応をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅沢海岸のフェンスを令和元年度ぶりに解放した。 ・令和元年度よりも多い来場者数であった。 	・夏季における梅沢海岸来場者数
20	1-5 良好な自然を象徴する動植物の保全	①自然環境を知るための講座の実施	自然環境への関心を高めるため、二宮の動植物について学び、自然と親しむ講座などを開催する。	教育委員会生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・講座を1講座実施する予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二宮町の縄文時代の地質について学ぶ講座や、歴史や文化、史跡を巡る散策を実施した。その中で町の昔の自然環境の状況を知る機会を提供することができ、自然に関心を持ってもらうきっかけづくりとすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座数 ・参加人数

評価					課題		対応			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・キャンペーンの参加者数は年々増加傾向にあったが、実施内容がマンネリ化、パターン化してしまっていることや、新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となったことから、参加人数が減少した。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人が密集しないよう、開催方法を検討する必要がある。</p> <p>・プラスチックごみが大量に海へと流れ着いてしまっている。</p> <p>・開会式を開催しない、受付時間を30分間設けるなど新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、開催方法を工夫しキャンペーンを今後も実施していく。</p> <p>・プラスチックごみなどが海へと流れ着かないよう、引続きポイ捨て禁止や不法投棄防止について啓発を実施していく。</p>			
R01 目標値 570人以上	R02 目標値 570人以上	R03 目標値 570人以上	R04 目標値 570人以上	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 556人	R02 実績値 0人	R03 実績値 0人	R04 実績値 489人	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率 98%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 0%	R04 事業達成率 86%	86%	100%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 43%	事業内容 評価(B) 50%					
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 80%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり 93%						
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・地区保全森林には、民有地も含まれるが、日頃の維持管理や台風時の倒木の危険性等から、自主的な保全に理解を得る必要がある。</p> <p>・松枯れ防止薬剤による防除を図りつつ、枯損樹木の除去については、近隣市町の対応の状況も加味し、優先順位を定め適切な保全に努める。</p>	
R01 目標値 330アンフル	R02 目標値 330アンフル	R03 目標値 330アンフル	R04 目標値 330アンフル	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 330アンフル	R02 実績値 330アンフル	R03 実績値 112アンフル	R04 実績値 330アンフル	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 34%	R04 事業達成率 100%	100%	100%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%					
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	総合評価(A)+(B) 100%						
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・漁港区域の一部を駐車スペースとして利用しているが、数に限りがあることや自然環境への被害を配慮し、自家用車に頼らない来場が求められる。</p> <p>・自家用車に頼らない来場の促進方法を検討する。</p>			
R01 目標値 1,700人	R02 目標値 1,700人	R03 目標値 1,700人	R04 目標値 1,700人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 7,439人	R02 実績値 0人	R03 実績値 0人	R04 実績値 11,709人	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 0%	R04 事業達成率 100%	100%	100%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%					
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	総合評価(A)+(B) 100%						
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・自然環境をテーマにした講座はあまり参加者が多く集まらない傾向にある。</p> <p>・町民にとって魅力ある自然講座を企画する。</p> <p>・直接的なテーマでなくても、自然環境への関心を高める内容を取り入れる。</p>	
R01 目標値 3講座 40人	R02 目標値 3講座 40人	R03 目標値 3講座 40人	R04 目標値 3講座 40人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 1講座 10人	R02 実績値 0講座 0人	R03 実績値 1講座 0人	R04 実績値 2講座 42人	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率 29%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 17%	R04 事業達成率 86%	86%	40%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 43%	事業内容 評価(B) 20%					
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 0%	R03 事業内容評価 80%	R04 事業内容評価 40%	総合評価(A)+(B) 63%						

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
21	1-5 良 好な自 然を象 徴する 動植物 の保全	②有害 鳥獣被 害対策 事業	人と自然が共生するまちづくりをめざすため、有害鳥獣の捕獲許可等、適正な管理を行うとともに、県、近隣市町村、農業者等と連携し、農業被害、生活被害を防止し、生態系を保持する。	都市部 生活環 境課 ・ 都 市部 産業振 興課	・ 鳥獣捕獲等許可申請書を適正に審査し、許可証を交付する。 ・ 必要に応じて有害鳥獣捕獲農及び檻の貸出しを行う。 ・ 有害鳥獣被害防止対策、並びに有害鳥獣遭遇対策に関する情報提供を行う。 ・ イノシシなどが市街地に出没した際に備え、迅速に対処できるよう関係機関と調整を図り、体制を整備する。	・ 鳥獣捕獲等許可申請書を適正に審査し、許可証を交付した。 ・ 大型檻を新たに購入し、檻の貸出し及び捕獲物の処理体制を整備した。 ・ 有害鳥獣被害防止対策、並びに有害鳥獣遭遇対策に関する情報提供を行った。	・ 有害鳥獣による農業被害件数 ・ 有害鳥獣による生活被害件数
22	2-1 リ デュースの促 進（ご みの発 生や排 出の抑 制）	①ごみ 減量化 推進事 業	ごみの発生を抑制するため、環境活動団体等との連携・協力によるイベントやさまざまな広報媒体を通じて、リデュース(将来ごみとなるようなものを無駄に買わないこと)に関する普及啓発を行う。	都市部 生活環 境課	・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イベントが中止となることも想定されるため、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発を行う。	・ 生ごみ処理機（消滅型生ごみ処理機キエーロ等）の利用、食品ロス削減や適正分別などによるごみの排出抑制等に関する啓発をイベント13回、広報紙8回、ホームページ12回、SNS9回、チラシ4回(転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布1回含む)のほか、庁内インフォメーション3回の計50回行った。	・ 啓発回数
23	2-1 リ デュースの促 進（ご みの発 生や排 出の抑 制）	②マイ バッ ク・マ イボ トル等 の利用 促進	ごみの発生を抑制するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、「かながわプラごみゼロ宣言」でも謳われているマイバック・マイボトルの利用促進や二宮町商店連合協同組合と連携したレジ袋の削減等に関する普及啓発を行う。	都市部 生活環 境課	・ 3R推進月間（10月）を重点期間とし、通年で、広報紙やホームページ等を活用した積極的な啓発を行う。	・ 小中学生を対象に、「マイバッグ・マイボトル」をチャレンジ項目のひとつに組み入れた啓発物を夏休み・冬休み期間中の課題として配付するとともに、中学校へ環境出前授業を行った。また、レジ袋等のワンウェイプラ削減に関する啓発を環境イベント「エコフェスタにのみや」で1回、広報紙2回、ホームページ7回、SNS5回、チラシ6回（転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布1回含む）の計21回行った。	・ 啓発回数
24	2-1 リ デュースの促 進（ご みの発 生や排 出の抑 制）	③水分 もうひ としほ り運動	ごみの排出を抑制するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、生ごみもうひとしほりの実施に関する普及啓発を行うことで、可燃ごみに含まれる水分量を減らす。	都市部 生活環 境課	・ 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、イベントが中止となることも想定されるため、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発を行う。	・ ごみの組成分析調査を実施した結果、湿ベースで可燃ごみ中に含まれる水分は約61%（60.8%）であった。 ・ 水分もうひとしほり運動に関する啓発を広報紙3回、ホームページ2回、イベント4回、チラシ（転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布）1回の計10回行った。	・ 回収可燃ごみ量内の水分割合(水分率)

評価					課題		対応		
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・近年増加傾向にあるイノシシの生活被害が、農地での捕獲実績と呼応して増加傾向にある。</p> <p>・一色・緑が丘・百合が丘などの山林地と住宅地の境目においてはイノシシの目撃情報が多く寄せられている。</p> <p>・イノシシの出没範囲が山林に面した市街地にだけでなく、市街地の中心部にも及んできているため、イノシシに遭遇した際の対処法について、町民に広く周知していく必要がある。</p>		
R01	R02	R03	R04	達成状況	事業内容				
目標値	目標値	目標値	目標値	評価	評価				
10件以下	10件以下	10件以下	10件以下	50	50				
5件以下	5件以下	5件以下	5件以下						
R01	R02	R03	R04	×	×				
実績値	実績値	実績値	実績値	事業	事業内容				
59件	19件	9件	28件	達成率	達成率				
17件	29件	62件	31件						
R01	R02	R03	R04						
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	26%	80%				
23%	35%	54%	26%	達成状況	事業内容				
				評価(A)	評価(B)				
事業内容評価					13%	40%			
R01	R02	R03	R04	総合評価(A)+(B)					
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価						
100%	100%	100%	80%	53%	C				
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ごみ排出量の削減に向け、引き続き、イベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。</p> <p>・多くの町民に「自分事」として行動してもらえるよう、まずは誰でも簡単に取り組むことができるごみ減量化策を様々な機会を通じて効率的に啓発を行う必要がある。</p> <p>・事業者協力のもと、食品ロスの削減を図る必要がある。</p>		
R01	R02	R03	R04	達成状況	事業内容				
目標値	目標値	目標値	目標値	評価	評価				
4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	25	75				
R01	R02	R03	R04	×	×				
実績値	実績値	実績値	実績値	事業	事業内容				
8回	40回	42回	50回	達成率	達成率				
				100%	100%				
R01	R02	R03	R04						
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	達成状況	事業内容				
100%	100%	100%	100%	評価(A)	評価(B)				
				25%	75%				
事業内容評価					総合評価(A)+(B)				
R01	R02	R03	R04						
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価						
80%	100%	100%	100%	100%	A				
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・マイバッグやマイカゴについては当たり前の行動として浸透していることが伺えるものの、マイボトルについては、マイバッグほどの浸透が伺えない。</p>		
R01	R02	R03	R04	達成状況	事業内容				
目標値	目標値	目標値	目標値	評価	評価				
2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	50	50				
R01	R02	R03	R04	×	×				
実績値	実績値	実績値	実績値	事業	事業内容				
2回	10回	18回	21回	達成率	達成率				
				100%	100%				
R01	R02	R03	R04						
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	達成状況	事業内容				
100%	100%	100%	100%	評価(A)	評価(B)				
				50%	50%				
事業内容評価					総合評価(A)+(B)				
R01	R02	R03	R04						
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価						
80%	100%	100%	100%	100%	A				
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単に取り組めるごみ減量化策について、引き続きイベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。</p>		
R01	R02	R03	R04	達成状況	事業内容				
目標値	目標値	目標値	目標値	評価	評価				
50%	50%	50%	50%	75	25				
R01	R02	R03	R04	×	×				
実績値	実績値	実績値	実績値	事業	事業内容				
60%	59.9%	60.9%	60.8%	達成率	達成率				
				82%	100%				
R01	R02	R03	R04						
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	達成状況	事業内容				
80%	80%	78%	82%	評価(A)	評価(B)				
				62%	25%				
事業内容評価					総合評価(A)+(B)				
R01	R02	R03	R04						
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価						
80%	100%	100%	100%	87%	B				

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
25	2-1 リ デュ ースの促 進（ご みの発 生や排 出の抑 制）	④食べ 残しゼ ロ運動 の推進	ごみの排出を抑制するた め、イベントやさまざまな 広報媒体を通じて、3010 運動(宴会時の食べ切り)等 の実施に関する普及啓発を 行う。	都市部 生活環 境課	・エコフェスタにのみや及びふる さとまつりが新型コロナウイルス 感染拡大防止により中止となっ たため、今後の状況を鑑みなが らホームページや広報紙等で啓 発を行う。	・食べ残しゼロ運動に関する啓 発を町内事業者（スーパー）連 携により1回、子ども食堂1回、 広報紙5回、ホームページ4回、 SNS1回の計12回行った。	・啓発回数
26	2-1 リ デュ ースの促 進（ご みの発 生や排 出の抑 制）	⑤ごみ 減量化 推進協 議会に よる減 量化の 推進	さらなるごみの減量化方策 を研究するため、ごみ減量 化推進協議会を開催する。	都市部 生活環 境課	・ごみ減量化研究会を閉会した ため、事業計画なし。	・本研究会と地域環境推進員の 活動機能が重複していることを 踏まえ、令和3年度をもって本 研究会を閉会した。そのため、 研究会の開催なし。	・協議会開催回数
27	2-2 リ ユース やリサ イクル の促進	①リ ユース ショッ プの利 用促進	リユースを促進するため、 イベントやさまざまな広報 媒体を通じて、リユース ショップの利用や中古品の 再利用に関する普及啓発を 行う。	都市部 生活環 境課	・3Rの積極的な啓発を行いつ つ、新型コロナウイルスの感染 拡大状況をみながら、リユース ショップの利用に向けた積極 的な啓発を行う。	・環境イベント「エコフェスタ にのみや」で啓発を実施した。 ・小中学校向けの夏/冬休みの 課題配付、保育園/幼稚園（別 途、同日に保護者へ実施）、小 学校/中学校へ環境出前授業を 実施した。 ・上記に加え、3Rに関する啓 発を広報紙2回、ホームページ 7回、SNS6回のほか、チラシ （転入者向けにごみ排出抑制 のチラシを窓口配布1回含む） の計29回行った。	・リユースを促進するための啓 発回数
28	2-2 リ ユース やリサ イクル の促進	②グ リー ン購 入の 推進	リユースやリサイクルを促 進するため、「国等による 環境物品等の調達推進等 に関する法律」に基づき、 環境への負担の少ない環境 物品の調達を推進する。	都市部 生活環 境課	・二宮町環境物品等の調達の 推進を図るための方針（グリー ン購入の促進を図るための 方針）を作成し、新年度ごと にホームページの更新と、役 場内のインフォメーションに 掲載する。 ・様々な広報媒体を活用し、 啓発を行う。	・令和4年度版の、二宮町環 境物品等の調達の推進を図る ための方針（グリーン購入の 促進を図るための方針）を 作成し、ホームページと役場 内のインフォメーションに掲 載した。	・グリーン購入に関する啓発 の回数

評価					課題		対応			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単に取り組めるごみ減量化策について、引き続きイベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。</p> <p>・事業者協力のもと、食品ロスの削減を図る必要がある。</p> <p>・ホームページは、課題であった啓発メニューや内容の充実化を図るとともに、カテゴリ分けをする等、従来の形式を刷新し、抜本的な見直しを行ったため、今後も引き続き、新しい情報や発信内容を変えるなどの更新を行う。</p> <p>・事業者協力のもと、消費者である町民向けに食品ロス削減に関わる啓発を行うことを検討する。</p>			
R01 目標値 4回以上	R02 目標値 4回以上	R03 目標値 4回以上	R04 目標値 4回以上	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75					
R01 実績値 3回	R02 実績値 10回	R03 実績値 17回	R04 実績値 12回	×	×					
R01 事業達成率 75%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 25%	事業内容 評価(B) 75%					
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	総合評価(A)+(B) 100%						
				A						
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・新型コロナウイルスの「5類」移行に伴い、積極的な周知に向けて取り組みを増やしていく必要がある。</p> <p>・3Rの啓発を引き続き行い、リユースショップの利用等の啓発も行う。</p> <p>・社会福祉協議会などにおいて、リユースバザーなどの事業を展開していることから、連携しながら、より広範囲での啓発に努める。</p>	
R01 目標値 2回	R02 目標値 2回	R03 目標値 2回	R04 目標値 2回	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75					
R01 実績値 1回	R02 実績値 0回	R03 実績値 1回	R04 実績値 0回	×	×					
R01 事業達成率 50%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 50%	R04 事業達成率 0%	事業 達成率 0%	事業内容 達成率 0%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 0%	事業内容 評価(B) 0%					
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 80%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 0%	総合評価(A)+(B) 0%						
				-						
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・毎年目標としている啓発回数に届いていないため、啓発媒体を活用し回数を増やす必要がある。</p> <p>・ホームページや役場内のインフォメーション、広報紙などを通して、グリーン購入についても積極的に啓発を行っている。</p>			
R01 目標値 4回	R02 目標値 4回	R03 目標値 4回	R04 目標値 4回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 2回	R02 実績値 1回	R03 実績値 26回	R04 実績値 29回	×	×					
R01 事業達成率 50%	R02 事業達成率 25%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%					
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	総合評価(A)+(B) 100%						
				A						
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・ホームページや役場内のインフォメーション、広報紙などを通して、グリーン購入についても積極的に啓発を行っている。</p>	
R01 目標値 3回	R02 目標値 3回	R03 目標値 3回	R04 目標値 3回	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75					
R01 実績値 2回	R02 実績値 1回	R03 実績値 2回	R04 実績値 2回	×	×					
R01 事業達成率 67%	R02 事業達成率 33%	R03 事業達成率 67%	R04 事業達成率 67%	事業 達成率 67%	事業内容 達成率 80%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 17%	事業内容 評価(B) 60%					
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 60%	R03 事業内容評価 80%	R04 事業内容評価 80%	総合評価(A)+(B) 77%						
				B						

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
29	2-2 リ ユース やリサ イクル の促進	③生ご み処理 機の導 入促進	リサイクルを促進するた め、イベントやさまざまな 広報媒体を通じて、生ごみ 処理機による堆肥の再生利 用に関する普及啓発を行う とともに、生ごみ処理機購 入費用の一部補助による導 入促進を図る。	都市部 生活環 境課	・通年で生ごみ処理機（非電動 型）の購入補助を行う。 ・庁舎入口付近へのキエーロの展 示を継続するとともに、環境イ ベントなどにも展示することによ り、効果的かつ効率的な啓発方法 を検討する。 ・キエーロ購入者にアンケート調 査を実施し、使用状況、感想や意 見を取りまとめることで、キエー ロの更なる普及促進につなげる。 ・ふれあい農園事業との事業間連 携をする。	・通年で生ごみ処理機の購入補助を 行った。 ・生ごみ処理機の案内チラシの刷新、 広報紙「環境づくりガイド」における 啓発を行った。 ・キエーロを促進するため、使用方法 等を紹介した動画を作成しホームペ ージ上で配信した。 ・生活環境課窓口においても申込手続 ができるよう二宮町商工会と調整の 上、申込書を作成し、申込受付を開始 した。	・生ごみ処理機導入補助件数
30	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	①二宮 町一般 廃棄物 処理基 本計画 の推進	町民の快適な生活環境づく りに寄与するため、「廃棄 物の処理及び清掃に関する 法律」に基づき、一般廃棄 物処理基本計画を推進す る。	都市部 生活環 境課	・本計画に基づき、ごみ減量化施 策を実施する。 ①1人1日当たりのごみ総排出量目 標値以下 ②目標値の資源化率以上 ③目標値の埋立率以下	・3つの計画目標のうち2つを達成し た。 ①1人1日当たりのごみ総排出量 790 （790.3）g 達成（目標値:798g） ②資源化率 32.7% 未達 ※基準の平成30年度実績値34.0%よ り増えていないため ③埋立率 61t 達成（目標値:70t以 下） ※基準の平成30年度実績値82tより 14.6%以上削減しているため	・一般廃棄物処理基本計画における 減量化の目標達成までの進捗率 ・一般廃棄物処理基本計画における 資源化の目標達成までの進捗率 一般廃棄物処理基本計画における最 終処分量の目標達成までの進捗率
31	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	②ごみ 置場散 乱防止 対策 （カラ スネッ ト配 布）	カラス等によるごみ散乱を 防止するため、カラス対策 の方法等を周知するととも に、カラスネットを配布す る。	都市部 生活環 境課	・更新申請時に、カラスネットの 適切な利用方法について周知、啓 発を行う。 ・利用者の希望や利用世帯数など を確認しながら、状況に合った種 類のカラスネットを配布してい く。	・カラスの被害対策として、ファス ナー付きカラスネットの配布を行っ た。 ・利用者のニーズに合わせて、2種類 のカラスネットを配布した。 ・今後、カラスネットを選定する際の 参考データとするため、カラスネット の更新手続き時に、使用状況の聞き取 りを行い、破損箇所など確認すること で、壊れやすい箇所の把握を行った。	・カラスネット配布箇所に対するカ ラス被害防除割合
32	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	③し尿 処理事 業	し尿の衛生的処理により生 活環境を保全するため、し 尿処理施設の適正な維持管 理を行う。	都市部 生活環 境課	・令和元年11月よりし尿等下水道 投入施設として稼働し、施設稼働 に伴う実績も出たため、予算内 の薬品や下水道使用料など、実績 量で予算計上し、維持管理する。 ・し尿等下水道投入施設の整備点 検計画に基づき維持管理する。 ・し尿等下水道投入施設の水質測 定、臭気測定、脱水汚泥分析測定 を実施する。 ・脱水汚泥運搬及び処理について も実績量を見ながら実施する。	・し尿処理事業は、実績や年間計画等 を基に、維持管理を行った。 ・整備点検計画に基づき、施設の維持 管理を実施した。 ・水質測定、臭気測定、脱水汚泥分析 測定を実施し、基準値内であった。 ・脱水汚泥運搬処理は、毎年処理量も 減少し、安定した運搬処理が出来て いる。	・し尿処理施設の水質、臭気、ダイ オキシン類測定における基準値適合 項目割合

評価					課題		対応			
達成状況評価					評価割合(100)		<ul style="list-style-type: none"> ・キエーロの普及を促進するため、効果的な啓発方法を検討する必要がある。 ・キエーロの申込手続は二宮町商工会で行っているが、生活環境課窓口で直接申し込みの相談に来る方もいるため、町民サービスの低下が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで配信しているPR動画の周知、啓発チラシを作成した他、環境イベントにおけるキエーロ展示を引き続き行う。 		
R01 目標値 39件	R02 目標値 39件	R03 目標値 39件	R04 目標値 39件	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 24件	R02 実績値 46件	R03 実績値 39件	R04 実績値 36件	× 事業 達成率 100%	× 事業内容 達成率 80%					
R01 事業達成率 69%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 40%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 80%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 80%	90%	B					
達成状況評価					評価割合(100)				<ul style="list-style-type: none"> ・資源化率が低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみの分別の徹底や食品ロスについて積極的な周知を行う。 ・引き続きごみ減量化策等について広報媒体を活用して積極的に啓発する。
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25					
R01 実績値 0	R02 実績値 0	R03 実績値 0	R04 実績値 0	× 事業 達成率 67%	× 事業内容 達成率 100%					
R01 事業達成率 0%	R02 事業達成率 33%	R03 事業達成率 33%	R04 事業達成率 67%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 25%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	75%	B					
達成状況評価					評価割合(100)		<ul style="list-style-type: none"> ・カラスネットをしっかりと被せない（ごみのはみ出る、ネットに隙間がでる）、しっかりと重しを置かない等といったことが要因だと考えられるが、ネットを掛けても、ごみ置場がカラスに荒らされてしまうといった相談が寄せられる。 ・ファスナー付きカラスネットの利用により、カラスによる被害が減少した、無くなったという声を聞く一方で、利用者のファスナーの開閉時の強弱が原因で破損に繋がるといった相談が寄せられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりがカラスネットを正しく利用するなど、基本的な対策を徹底してもらうよう、窓口などで説明していくとともに、被害状況や利用状況に合わせて、ファスナー付きカラスネットの利用を推進していく。 ・近隣自治体ではどのようなカラスネットを利用しているか、新たな商品が市場に出ていないかなど、随時情報収集を行っていく。 		
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 80%	R02 実績値 80%	R03 実績値 80%	R04 実績値 80%	× 事業 達成率 80%	× 事業内容 達成率 60%					
R01 事業達成率 80%	R02 事業達成率 80%	R03 事業達成率 80%	R04 事業達成率 80%	達成状況 評価(A) 40%	事業内容 評価(B) 30%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 80%	R03 事業内容評価 80%	R04 事業内容評価 60%	70%	C					
達成状況評価					評価割合(100)				<ul style="list-style-type: none"> ・し尿等下水道投入施設改修工事終了後、整備点検計画を作成し、計画に基づき維持管理をしているが、計画どおりに進まない部分もあるため、計画内容や費用についても毎年し再検討を行い、進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画や費用を再検討するにあたり、設備の状態や耐用年数などをもう一度点検で再確認し、実施時期の検討を行う。
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25					
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	× 事業 達成率 100%	× 事業内容 達成率 100%					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
33	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	④最終 処分場 施設運 営事業	周辺の生活環境への影響を 防ぎ、環境汚染の未然防止 に努めるため、埋立てを終 了した最終処分場の適正な 維持管理を行う。	都市部 生活環 境課	・最終処分場の水質、臭気、ダイ オキシン類測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表 する。	・最終処分場の水質、臭気、ダイオ キシン類を測定した結果、全て環境基準 値内となり問題はなかった。 ・測定結果について、ホームページで 公表した。 ・修繕及び工事等は計画等に基づいて 実施した。	・最終処分場の水質、臭気、ダイオ キシン類測定における基準値適合項 目割合
34	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	⑤ごみ の処理・ 処分に 関する 教育	ごみの適正な処理・処分へ の関心を高めるため、ごみ の出し方や処理についての 教育を学校等の学びの場で 行う。	教育委 員会 教育総 務課	・ごみの適正な処理・処分への関 心を高めるため、ごみの出し方や 処理についての教育を学校や学習 の場で行う。	・ごみの適正な処理等についての授業 を実施予定回数（約14回）行った。 ・バッカー車に学校に来てもらい、ご みの処理や処分に関する体験授業を 行った。	・実施予定回数に対する環境教育実 施回数割合
35	2-4 不 法投棄 防止の 推進	①不法 投棄防 止事業	計画的な大量ごみの山間投 棄等、犯罪性の高い不法投 棄を未然に防ぐため、県、 警察、ボランティア団体と 連携し、不法投棄監視及び 不法投棄物の撤去を行う。	都市部 生活環 境課	・環境保全パトロールを通年で週1 回実施する。 ・環境保全パトロールの実施によ り、町内を巡回監視し、不法投棄 の抑止を図る。 ・葛川をきれいにする会が清掃し た河川ごみを回収する。 ・不法投棄防止用の手製の啓発看 板を作成し、設置希望者に配布す る。	※環境保全パトロール（50回）＋廃棄 物不法投棄監視指導一斉取締り（4回） ・投棄物撤去と啓発看板設置により、 不法投棄防止を図った。 ・葛川をきれいにする会と連携し、河 川清掃ごみを回収した。	・不法投棄パトロール実施回数
36	2-4 不 法投棄 防止の 推進	②ごみ のポイ 捨て防 止事業	ごみの持ち帰りマナー向上 やポイ捨てを防止するた め、イベント等を通じて、 タバコやペットボトル等の ポイ捨て防止に関する普及 啓発を行う。	都市部 生活環 境課	・エコフェスタにのみや、ふるさ とまつり、湘南海岸530キャン ペーン及び大型店舗前で子どもた ちと協同実施している街頭美化 キャンペーンなどの町内イベント 時に、啓発物の展示や啓発活動を 実施する。 ・ポイ捨て防止用の手製の啓発看 板を作成し、設置希望者に配布す る。	・町内イベントが新型コロナウイルス の感染拡大に伴い中止となったため、 未実施となった。 ・ポイ捨ての被害で困っている方から 相談があった場合に、被害箇所へ啓発 看板を設置し、ポイ捨て防止のための 啓発を行った。	・ごみのポイ捨てを防止するための 啓発回数

評価					課題		対応			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・今後、最終処分場を適切に管理するため、整備点検計画等を継続して作成し、それに基づいて修繕工事等を計画的に進めていく必要がある。また、日常点検や測定委託等を適切に行い、施設管理を適切に行うことが必要である。</p>	<p>・整備点検計画を年度ごとに定め、経費の予算管理を行う。 ・日常点検を継続して実施し、緊急修繕が必要な箇所の把握に努め、施設の管理維持を行う。</p>		
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25					
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	×	×					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%					
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	総合評価(A)+(B) 100%						
					A					
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・次年度以降も継続的に体験授業を実施可能か不透明である。</p>	<p>・「社会科教科書」を教材とした教育を行うとともに、ごみの処理や処分に関する体験授業を引き続き行えるようにする。</p>
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 100%	R02 実績値 80%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	×	×					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 80%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%					
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	総合評価(A)+(B) 100%						
					A					
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・環境保全パトロール時における、不法投棄物の回収量は年々減少傾向にあるものの、ごみ置場にごみが放置されたままになっている等の相談が、依然として多く寄せられている。</p>	<p>・環境保全パトロール時に、町内を巡回監視することにより、不法投棄の抑止、未然防止を図るとともに、不法投棄物の早期発見、早期回収により、更なる不法投棄の誘発を防ぐ。</p>		
R01 目標値 52回	R02 目標値 52回	R03 目標値 52回	R04 目標値 52回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 54回	R02 実績値 52回	R03 実績値 51回	R04 実績値 54回	×	×					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 98%	R04 事業達成率 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 60%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 30%					
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 60%	総合評価(A)+(B) 80%						
					B					
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右される。</p>	<p>・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるイベントに頼らない、地産地消の促進を検討する。</p>
R01 目標値 5回	R02 目標値 5回	R03 目標値 5回	R04 目標値 5回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 5回	R02 実績値 2回	R03 実績値 0回	R04 実績値 2回	×	×					
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 40%	R03 事業達成率 0%	R04 事業達成率 40%	事業 達成率 40%	事業内容 達成率 80%					
事業内容評価				達成状況 評価(A) 20%	事業内容 評価(B) 40%					
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 80%	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり 60%						
					-					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
37	2-5 地 産地消 の促進	①地元 産品の 消費促 進	地産地消を促進するため、 朝市やイベントを通じて、 地元で採れた農産物や海産 物の購入を促進する。	都市部 産業振 興課	・新型コロナウイルスの感染拡大 防止の観点から、規模を縮小して の開催を予定している。 ・ふるさとまつりの来場および購 入促進を呼びかける。	・新型コロナウイルスの感染拡大防止 の観点から、規模を縮小して実施し た。	・湘南にのみやふるさとまつりの来 場者数
38	2-5 地 産地消 の促進	②地元 産品の 循環型 活用の 促進	地産地消を促進するため、 地元産品を消費して出た生 ごみの堆肥化と、その堆肥 の家庭菜園やふれあい農園 等での活用を推進する。	都市部 生活環 境課	・故障した大型生ごみ処理機の今 後の維持管理について検討を行 う。 ・ふれあい農園利用者に生ごみ処 理機購入補助制度について周知 し、堆肥の活用を推進する。	・学校給食センターに設置してある大 型生ごみ処理機は、故障により稼働し なかった。 ・ふれあい農園利用者に生ごみ処理機 購入費補助制度について周知した。	・大型生ごみ処理機の設置基数
39	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	①地球 温暖化 防止運 動の推 進	温室効果ガスの排出抑制を 推進するため、環境活動団 体等との連携・協力による イベントやさまざまな広報 媒体を通じて、エコドライ ブキャンペーンや再生可能 エネルギー等に関する情報 提供並びに普及啓発を行 う。	都市部 生活環 境課	・ふるさとまつりが開催できた場 合においても、引き続き代替え事 業に取り組んでいく。 ・広報紙やホームページ、 Facebookなどでも、地球温暖化防 止のための啓発を実施し、町民の 意識向上へのきっかけを作ってい く。	・イベントの代替え事業として、冬休みに 二宮町内の全小中学校の児童、生徒に、マ イエコ10宣言を実施した。マイエコ10宣 言の結果は、一色小学校10.1項目、二宮小 学校10.6項目、山西小学校10.1項目、二宮 中学校10.0項目、二宮西中学校9.5項目の 回答が得られた。※マイエコ10宣言：環境 に関わる16項目の中で、何項目実施できて いるか、または実施できそうかを回答する もの。	・地球温暖化防止に向けた啓発回数 ↓ ※低炭素社会の形成に係る唯一の重 点プランの指標が「啓発回数」で は、基本目標の達成状況を判断しに くいため、ふるさとまつりで実施し ている「マイエコ10宣言」の回収時 に「トライする項目」の他、「実効 している項目」を教えてもらい、 「温暖化防止行動の実行率」に指標 を変更。(マイエコ10宣言で、10 個以上選択した人の中で、5個以上 実践している人の割合)
40	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	②ムダ な電力 消費等 の節約 啓発	節電を促進するため、さま ざまな広報媒体や子ども向 けチラシの学校での配布を 通じて、節電に関する普及 啓発を行う。	都市部 生活環 境課	・引き続き省エネルギー月間の周 知やグリーンカーテンの設置等で 啓発を行う。 ・学校側と連携を図り、町内の小 中学校への夏休み、冬休みの宿題 や環境出前授業等を通し啓発を行 う。	・省エネルギー月間の周知を広報紙、 ホームページ、SNSで行った。 ・役場職員の意識向上と町民の行動促 進を図るため、庁舎内で「クールア ース・デー」を実施し、節電に関わる啓 発を行った。 ・グリーンカーテンの設置や県の0円 ソーラー、太陽光共同購入事業など について、ホームページやチラシ等で周 知した。 ・未来づくり教室や、町内の小中学校 への夏休み、冬休みの宿題、保育園・ 幼稚園・小学校・中学校への出前授業 を通して、子どもを対象とした啓発を 行った。	・啓発回数

評価					課題		対応	
達成状況評価					評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右される。	
R01 目標値 10,000人	R02 目標値 10,000人	R03 目標値 10,000人	R04 目標値 10,000人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるイベントに頼らない、地産地消の促進を検討する。		
R01 実績値 9,000人	R02 実績値 0人	R03 実績値 0人	R04 実績値 3,000人	× 事業 達成率 30%	× 事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率 90%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 0%	R04 事業達成率 30%	達成状況 評価(A) 15%	事業内容 評価(B) 50%			
事業内容評価					総合評価(A)+(B) コロナの影響あり			
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	65%	-			
達成状況評価					評価割合(100)		・地産地消の促進により町内での循環につながる取組みになっているか、また、事業間、地域間連携を図り、生ごみリサイクルチェーンの形成に取り組んでいるか検討が必要である。	
R01 目標値 1基	R02 目標値 1基	R03 目標値 1基	R04 目標値 1基	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75	・ふれあい農園利用者などに生ごみ処理機購入補助制度について、引き続き周知を行い、堆肥の活用を推進するなどして、限りある資源を有効かつ効率的に活用していけるよう、循環型社会の実現に向けた取組を推進していく。		
R01 実績値 1基	R02 実績値 1基	R03 実績値 0基	R04 実績値 0基	× 事業 達成率 0%	× 事業内容 達成率 80%			
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 0%	R04 事業達成率 0%	達成状況 評価(A) 0%	事業内容 評価(B) 60%			
事業内容評価					総合評価(A)+(B)			
R01 事業内容評価 20%	R02 事業内容評価 40%	R03 事業内容評価 40%	R04 事業内容評価 80%	60%	C			
達成状況評価					評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ふるさとまつりが開催できていない。	
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75	・引き続き代替事業である、小中学校でのマイエコ10宣言を中心に、事業に取り組んでいく。 ・小中学校でのマイエコ10宣言は、環境について考えるきっかけとなるように、毎年実施し、結果もフィードバックしていく。		
R01 実績値 66%	R02 実績値 0%	R03 実績値 0%	R04 実績値 0%	× 事業 達成率 0%	× 事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率 66%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 0%	R04 事業達成率 0%	達成状況 評価(A) 0%	事業内容 評価(B) 75%			
事業内容評価					総合評価(A)+(B) コロナの影響あり			
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	75%	-			
達成状況評価					評価割合(100)		・地球温暖化対策（気候変動対策）については、子どもの頃から意識付けていくことが重要となるため、学校での環境教育等に、継続して力を入れていく必要がある。	
R01 目標値 3回	R02 目標値 3回	R03 目標値 3回	R04 目標値 3回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50	・町内の小中学校への夏休み、冬休みの宿題や、未来づくり教室、環境出前授業などを通して、引き続き学校側と連携を図りながら啓発を行っていく。 ・広報紙や子ども達に配布するプリント等に、ホームページの二次元コードを付けるなど、継続して気付きや学びにつながるよう工夫を重ねていく。		
R01 実績値 4回	R02 実績値 12回	R03 実績値 20回	R04 実績値 25回	× 事業 達成率 100%	× 事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%			
事業内容評価					総合評価(A)+(B)			
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A			

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
41	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	③エコ カーの 導入 (電気 自動車 等導入 検討) 事業	職員の公用車利用による環境への負荷を軽減するため、「二宮町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」に基づき、公用車の買替え等の際は、低燃費車や電気自動車等のエコカーを導入する。	政策総 務部 財務課	・平成30年度の排出基準を満たす車両を3台、平成30年度基準排出ガス規制50%低減レベル認定車を2台導入する。	・入札の結果、現在使用している1台のダイナを再リースし、継続して使用した。 ・新規リースで平成27年度燃費基準25%向上達成車を2台、15%向上達成車を2台導入した。	・低燃費車や電気自動車等のエコカー導入台数
42	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	④環境 負荷の 少ない 交通の 利用促 進	環境負荷の少ない交通手段(公共交通)の利用を促進するため、「にの♡バス」等を通じて、啓発を行うとともに、バス停毎の乗降実績等を基に「にの♡バス」の見直しを検討する。	政策総 務部 企画政 策課 ・ 都 市部 都市整 備課	・10月のルート改編で、ザ・ビッグまで延伸することに伴い、ザ・ビッグを巻き込んだ利用促進策を実施する。 ・高齢者及び児童・園児を対象とした啓発活動に着手する。	・10月のルート改編(延伸)に際し、バス停への椅子の設置などザ・ビッグからの協力が得られた。 ・通いの場で約135名に啓発ができた。 ・243日運行、20,428人乗車、1日平均乗車人数84人であった。	・にの♡バス利用によるCO ₂ 削減量
43	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	⑤駅前 駐輪場 の運営 (利用 者の利 便性向 上)	環境負荷の少ない交通手段(自転車)の利用を促進するため、駅周辺に整備した自転車駐輪場を利用者の利便性に配慮して運営する。	政策総 務部 防災安 全課	・電動自転車や多種多様な自転車の駐車が可能となるよう、平置き用駐輪スペースの拡大等を行い、より多くのニーズに対応できるようにすることで、エコな移動手段である自転車の利用を促進していく。	・125cc以下の原動機付自転車が駐車可能になったことに伴い、区画整備を行った。	・自転車駐輪場利用延べ台数(自転車及び原付バイク)
44	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	⑥地球 温暖化 防止に 関する 教育	地球温暖化防止への関心を高めるため、温暖化対策についての教育を学校等と連携し、学びの場で行う。	都市部 生活環 境課	・町内の保育園、幼稚園、小学校、中学校を対象に、環境出前授業を実施する。 ・未来づくり教室等のイベントを開催し、学校以外でも環境について学ぶ場を設ける。 ・広報紙に前月号に関するクイズを掲載し、町民へ啓発していく。 ・引き続き、環境イベント等に参加してくれた子ども達へ、オリジナル缶バッジを配布する。	・夏休みに町内の小学生を対象とした、工作を通して環境について楽しく学ぶ未来づくり教室を1回開催した。また、保育園・幼稚園・小学校・中学校へ出前授業を8回行った。	・環境教育の実施回数

評価					課題		対応			
達成状況評価					評価割合(100)		<ul style="list-style-type: none"> 導入にあたり新型コロナウイルスの影響による自動車の生産量低下の可能性があり、今後のエコカー導入に影響が及ぶ可能性がある。 軽バン、軽トラなどは、クリーンエネルギー自動車への移行が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新車のエコカー調達ที่困難な場合は、短期の再リースを行う等の対応を検討する。 		
R01 目標値 4台	R02 目標値 5台	R03 目標値 5台	R04 目標値 14台	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25					
R01 実績値 4台	R02 実績値 7台	R03 実績値 2台	R04 実績値 13台	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	93%	100%					
100%	100%	40%	93%	達成状況 評価(A) 70%	事業内容 評価(B) 25%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	95%	B					
100%	100%	100%	100%							
達成状況評価					評価割合(100)				<ul style="list-style-type: none"> ルート改編や利用促進等により利用者は増えているが、ガソリン価格等の高騰により運行経費も増えている。 交通施策、福祉施策の面からみると、コミュニティバスは一つの限界を迎えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加により、コミュニティバスの経費等を勘案した継続性はおおよそ確保の目途ができた。 高齢化でより福祉的な視点が求められる中、今後導入を検討している新たな交通施策との棲み分けを検討する。
R01 目標値 15,512g	R02 目標値 15,512g	R03 目標値 15,512g	R04 目標値 15,512g	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 11,816g	R02 実績値 9,632g	R03 実績値 11,312g	R04 実績値 12,824g	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	83%	100%					
76%	62%	73%	83%	達成状況 評価(A) 41%	事業内容 評価(B) 50%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	91%	B					
80%	60%	60%	100%							
達成状況評価					評価割合(100)		<ul style="list-style-type: none"> 無料駐輪場の利用者増加に伴い、駐輪場内のトラブルが増加している。 有料駐輪場については、照明や壁面に老朽化が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 区画整備及び管理委託業者との連携を強化することにより、無料駐車場の治安維持を行う。 駐車場内外の錆防止剤及びLED照明の導入により、長期的に快適に利用できる駐車場を整備する。 		
R01 目標値 92,000台	R02 目標値 92,000台	R03 目標値 92,000台	R04 目標値 92,000台	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 79,080台	R02 実績値 66,200台	R03 実績値 83,768台	R04 実績値 95,632台	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	80%					
86%	72%	91%	100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 40%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	90%	B					
100%	100%	80%	80%							
達成状況評価					評価割合(100)				<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに興味を持ってもらえるような啓発を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 最新の情報を子どもたちへ提供できるよう、常に更新を行う。
R01 目標値 2回	R02 目標値 2回	R03 目標値 2回	R04 目標値 2回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 2回	R02 実績値 1回	R03 実績値 3回	R04 実績値 9回	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%					
100%	50%	100%	100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%					
事業内容評価				総合評価(A)+(B)						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A					
100%	100%	100%	100%							

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
45	3-3 緑 化や雨 水利用 などによる環 境の安全	①建築 物の緑 化の推 進	建物の温度上昇を抑制する ため、公共施設などの建物 に植物（グリーンカーテン） を設置するとともに、 イベントやさまざまな広報 媒体を通じて、町民への普 及促進を図る。	都市部 生活環 境課	・引き続き町役場庁舎2階入口の2 箇所の花壇にグリーンカーテンの アーチを作り、啓発を行う。 ・グリーンカーテンで作ったゴー ヤは、町民センターの「ともしび ショップなのはな」で料理をして いただき、地産地消についても同 時に啓発していく。 ・夏休みの子ども食堂のお弁当に は、役場で作ったゴーヤを入れて 提供してもらえるように調整す る。	・町役場庁舎2階入口の2箇所の花壇 にグリーンカーテンを設置し、昨年同 様に、グリーンカーテンのアーチを作 り啓発を行った。 ・グリーンカーテンの成長記録等を定 期的にホームページへ掲載し、啓発を 行った。 ・夏休みの子ども食堂のお弁当に、役 場で作ったゴーヤを入れて子ども達に 提供した。	・緑のカーテン設置箇所数
46	3-3 緑 化や雨 水利用 などによる環 境の安全	②開発 行為等 におけ る緑化 指導 (要 綱、指 導、条 例)	緑地面積を確保するため、 「二宮町の開発事業におけ る手続及び基準等に関する 条例」及び「二宮町緑の保 全及び緑化の推進に関する 要綱」に基づき、開発行為 完了後の緑化推進を指導す る。	都市部 都市整 備課	・「二宮町の開発事業における手 続及び基準等に関する条例」に基 づき、開発事業事前協議書の提出 者に対して緑化の指導を行う。 ・緑化の促進のための整備手法に ついて検討していく。	・令和4年度の開発申請件数は3件であ り、すべての案件を「二宮町の開発事 業における手続及び基準等に関する条 例」に基づき、緑化の指導を行った。	・開発協議件数に対する指導件数割 合
47	3-3 緑 化や雨 水利用 などによる環 境の安全	③花 いっば い運動 の推進	町内の緑化及び町民の緑化 意識の高揚を図るため、町 内の公共施設等で花壇やプ ランター等への花の植栽を 行う。	都市部 都市整 備課	・6月、11月に花苗を各所に配布 し、ゆめクラブ等地域ボランティ アによる植栽を実施する。	・6月9日の実施結果は、植栽箇所数23 箇所、マリーゴールド1,474株、ペゴ ニア1,546株を植えた。 ・11月11日の実施結果は、植栽箇所数 23箇所、パンジー1,053株、ピオラ 1,053株、菜の花500株を植えた。	・設置予定箇所に対する花の植栽割 合
48	3-4 環 境保全 による 安全な まちづ くり	①側溝 や集水 樹の補 修・清 掃(冠 水防 止)	集中豪雨時の冠水防止対策 により環境を保全するた め、町民等と連携、側溝や 集水樹の補修・清掃を行 う。	都市部 生活環 境課 都市部 都市整 備課	・堆積の著しい道路側溝は清掃を 実施する。また道路冠水の原因の 一因であるグレーチングの詰まり は、町作業員にて上部清掃を適宜 実施し、道路冠水を防止する。	・業者での側溝清掃(7件)、町作業員に よる側溝清掃やグレーチング上部の清 掃等(78件)を実施した。	・町民等と連携した側溝や集水樹の 補修・清掃件数

評価					課題		対応			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・多くの方にグリーンカーテンを意識してもらえよう、啓発を行う必要がある。</p>	<p>・ホームページを開いた方が少しでも興味を持っていただけるよう、グリーンカーテンの成長記録を定期的に更新するだけでなく、設置箇所へポップなどの掲示を行う。</p>		
R01 目標値 2箇所	R02 目標値 2箇所	R03 目標値 2箇所	R04 目標値 2箇所	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 2箇所	R02 実績値 2箇所	R03 実績値 2箇所	R04 実績値 2箇所	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%					
100%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)					
事業内容評価				50%	50%					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)						
100%	100%	100%	100%	100%	A					
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・緑化に関しては、開発協議の際に指導を行わない、完了時確認を行っているが、その後の維持管理は居住者となるため、緑化の維持管理について懸念される。</p>	<p>・公園緑地班と連携を図り、緑地の維持管理について広報紙等により意識向上を図る。</p>
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25					
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	60%					
100%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)					
事業内容評価				75%	15%					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)						
40%	100%	60%	60%	90%	B					
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ゆめクラブや公園愛護会にご協力いただいているが、高齢化等により作業の実施が困難なケースが発生している。</p>	<p>・ゆめクラブや公園愛護会にご協力いただいているが、高齢化等により作業の実施が困難なケースが発生している。</p>		
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25					
R01 実績値 100%	R02 実績値 50%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%					
100%	50%	100%	100%	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)					
事業内容評価				75%	25%					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)						
100%	100%	100%	100%	100%	A					
達成状況評価					評価割合(100)				<p>・町内全ての道路側溝を一齐に清掃することは困難であるため、これまでの対応経過や地区要望などの状況により、施工箇所を検討する必要がある。</p>	<p>・これまでの対応経過、地区要望などの状況や、担当職員の巡回などにより、堆積状況を把握し、適宜対応していく。</p>
R01 目標値 50件	R02 目標値 50件	R03 目標値 50件	R04 目標値 50件	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75					
R01 実績値 43件	R02 実績値 59件	R03 実績値 93件	R04 実績値 85件	× 事業 達成率	× 事業内容 達成率					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	80%					
86%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)					
事業内容評価				25%	60%					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)						
100%	80%	80%	80%	85%	B					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
49	3-4 環 境保 全に よる 安全 なま ちづ くり	②雨水 浸透施 設設置 の指導	町内の自然環境の保全のため、「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、雨水浸透施設（屋根等に降った雨水を宅地内に浸透させる施設）の設置を指導する。	都市部 都市整 備課	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、雨水浸透施設の設置等、雨 水流出抑制に対する手法について 検討を行う。	・令和4年度の開発申請件数は3件であり、すべての案件について「二宮町 の開発事業における手続及び基準等 に関する条例」に基づき、排水の指導 を行った。	・開発協議件数に対する指導件数割 合
50	3-4 環 境保 全に よる 安全 なま ちづ くり	③狭あ い道路 等拡幅 整備事 業	町民の日常生活の利便増進及び災害時における安全を図るため、建築基準法第42条第2項等に基づく道路に対し、二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱により、道路を整備する。	都市部 都市整 備課	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要 綱に基づき申請された案件の内、 土地の所有権移転登記まで終了し た箇所の工事を実施する。	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱 に基づき申請された案件の内、土地の 所有権移転登記まで終了した箇所の工 事を実施した。 ・令和4年度工事は15箇所で舗装工事 を実施した。	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱 に基づく申請に対しての工事実施率
51	3-5 快 適な生 活環境 の向上	①地域 美化活 動の推 進	地域美化活動の推進により快適な生活環境の向上を図るため、ごみ袋の配布、保険の加入等美化活動を行う個人・団体への支援を行う。	都市部 生活環 境課	・地域美化清掃活動に対し、ごみ 袋の配布、ごみの回収、傷害保険 などの手続きの支援を行う。	・地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の 配布、ごみの回収、傷害保険などの手 続きを行った。 ・前年度に比べ、件数、参加人数とも に増加したが、新型コロナウイルスの 感染拡大防止の観点から、活動を自粛 した地域などもあり、目標値を達成す ることは出来なかった。	・地域美化清掃の件数 ・地域美化清掃の参加人数
52	3-5 快 適な生 活環境 の向上	②公害 防止対 策事業	公害の防止により快適な生活環境の向上を図るため、県、事業者等と連携し、町内各所で道路騒音や河川水質(健康項目)を測定するとともに、ホームページを通じて、測定結果を情報提供する。	都市部 生活環 境課	・騒音測定を実施する。 ・河川水質測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表 する。	・騒音測定、河川水質測定を実施し、 道路交通の騒音状況や河川の水質状況 を把握した。 ・測定結果をホームページで公表し た。 ・騒音測定については、全8検体（4地 点×昼間・夜間）が環境基準値を満た した。 ・河川水質測定については、全24検体 （6地点×年4回）中、2検体が環境基準 値を超過した。	・騒音測定地点数に対する測定値が 基準値内の地点数割合 ・河川水質測定値点数に対する測定 値が基準値内の地点数割合

評価					課題		対応	
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・雨水の排水について宅地内浸透処理の指導を行っているが、集中豪雨や台風では全て処理されず、道路へ流出が懸念される。</p>	<p>・宅地内浸透処理のほか側溝等の設置により開発地内での雨水流出抑制を指導していくとともに、想定外の降雨に対し、新たな手法や冠水対策を検討していく。</p>
R01	R02	R03	R04	達成状況	事業内容			
目標値	目標値	目標値	目標値	評価	評価			
100%	100%	100%	100%	75	25			
R01	R02	R03	R04	×	×			
実績値	実績値	実績値	実績値	事業	事業内容			
100%	100%	100%	100%	達成率	達成率			
R01	R02	R03	R04	100%	100%			
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率					
100%	100%	100%	100%	達成状況	事業内容			
				評価(A)	評価(B)			
事業内容評価					75%	25%		
R01	R02	R03	R04	総合評価(A)+(B)				
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	100%	A			
40%	100%	100%	100%					
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・建築確認申請に伴う受動的な事業であり、事業の進捗も相手の都合により変わるため、実施箇所数も年度ごとにバラつきが生じる。</p>	<p>・原則は当該年度で実施していくが、事業内容によっては2箇年度で計画し、提出された申請を適切に処理していく。</p>
R01	R02	R03	R04	達成状況	事業内容			
目標値	目標値	目標値	目標値	評価	評価			
100%	100%	100%	100%	75	25			
R01	R02	R03	R04	×	×			
実績値	実績値	実績値	実績値	事業	事業内容			
100%	100%	100%	100%	達成率	達成率			
R01	R02	R03	R04	100%	100%			
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率					
100%	100%	100%	100%	達成状況	事業内容			
				評価(A)	評価(B)			
事業内容評価					75%	25%		
R01	R02	R03	R04	総合評価(A)+(B)				
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・地域美化清掃の規模が大きくなり、回数が増えるほど、草葉の回収量も増えていくため、出来る限り枯らしてから出してもらおう等の工夫が必要である。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域美化清掃の実施回数の減少、実施規模の縮小が見込まれる。</p>	<p>・地域美化清掃協議書の提出時出来る限り、草葉を枯らして水分量を減らしてから出してもらおうにしたり、堆肥化してもらえよう願う。</p>
R01	R02	R03	R04	達成状況	事業内容			
目標値	目標値	目標値	目標値	評価	評価			
60件	60件	60件	60件	50	50			
6,900人	6,900人	6,900人	6,900人					
R01	R02	R03	R04	×	×			
実績値	実績値	実績値	実績値	事業	事業内容			
53件	43件	55件	55件	達成率	達成率			
6,309人	3,285人	3,824人	5,385人					
R01	R02	R03	R04	85%	80%			
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率					
90%	60%	74%	85%	達成状況	事業内容			
				評価(A)	評価(B)			
事業内容評価					42%	40%		
R01	R02	R03	R04	総合評価(A)+(B)				
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	コロナの影響あり				
80%	80%	80%	80%	82%	-			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・道路騒音測定では、今年度は環境基準値を超過した地点はなかったが、例年、交通量が多い路線で、環境基準値を超過してしまう地点が出てくる。</p>	<p>・道路交通騒音測定、河川水質測定を継続的に実施し、測定結果を注視していくとともに、測定値が環境基準値を超過してしまった場合は、各関係機関と連携を図り、改善に向けた協議を行う。</p>
R01	R02	R03	R04	達成状況	事業内容			
目標値	目標値	目標値	目標値	評価	評価			
100%	100%	100%	100%	75	25			
100%	100%	100%	100%					
R01	R02	R03	R04	×	×			
実績値	実績値	実績値	実績値	事業	事業内容			
75%	100%	75%	100%	達成率	達成率			
92%	96%	100%	92%					
R01	R02	R03	R04	96%	40%			
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率					
84%	98%	88%	96%	達成状況	事業内容			
				評価(A)	評価(B)			
事業内容評価					72%	10%		
R01	R02	R03	R04	総合評価(A)+(B)				
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	82%	B			
60%	60%	60%	40%					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
53	3-5 快 適な生 活環境 の向上	③屋外 燃焼行 為によ る被害 の防止	屋外燃焼行為による被害の 防止により快適な生活環境 の向上を図るため、「廃棄 物の処理及び清掃に関する 法律」及び「神奈川県生活 環境の保全等に関する条 例」に基づき、違反者に対 し燃焼行為の中止を指導す る。	都市部 生活環 境課	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理法及び県条例に違反して屋外燃焼行為を行っている違反者に指導を行い、燃焼行為を中止させる。 ・廃棄物処理法及び県条例による屋外燃焼行為の禁止に関する周知啓発を広報紙等で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理法及び県条例に違反して屋外燃焼行為を行っている違反者に指導をおこない燃焼行為を中止させた。 ・廃棄物処理法及び県条例による屋外燃焼行為の禁止に関する周知啓発を広報紙及び町ホームページで行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情件数に対する焼却行為の中止件数割合

評価					課題		対応
達成状況評価				評価割合(100)		<p>・例年、公害苦情件数の中でも、屋外燃焼行為に関する苦情件数の占める割合が、他の公害苦情に比べ、高くなっている。</p> <p>・苦情が入っても、既に屋外燃焼行為が終わってしまった後等、場所が特定できないことがある。</p>	<p>・屋外燃焼行為は法令違反となっているため、原因者に屋外燃焼行為を中止させ再度行わないよう指導を行い、再発防止に努める。</p> <p>・広報紙等で屋外燃焼行為の禁止に関する周知啓発を定期的に行う。</p>
R01 目標値 100人	R02 目標値 100人	R03 目標値 100人	R04 目標値 100人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50		
R01 実績値 100人	R02 実績値 100人	R03 実績値 100人	R04 実績値 100人	×	×		
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 60%		
100%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 30%		
事業内容評価				総合評価(A) + (B)			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	80%	B		
60%	60%	60%	60%				